

私たちは、福島を忘れない さよなら上関原発

子どもたちの未来を守るために。
原発のない社会へ！
ともに声をあげましょう！

宇部市西岐波 床波漁港から上関町祝島が見えます。
見える距離にある原発計画です。



3.19 宇部パレード

日程 2022年
3月19日(土)

午前10時
午前11時
正午

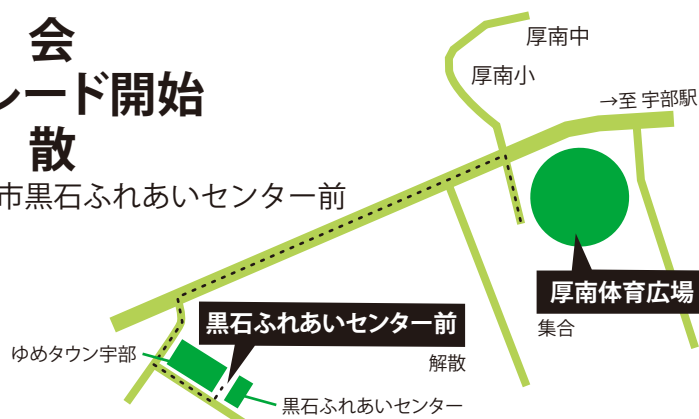
集会
パレード開始
解散

宇部市黒石ふれあいセンター前

集合場所 **厚南体育広場**
宇部市厚南中央五丁目6



昨年のパレード (3月13日)



※ジェンベ (アフリカの太鼓) 奏者の「山口アフリ家族」の皆さんが、パレードに参加します。
※コロナ対策のため大きな声は出しません。
※ゼッケン、プラカードなどにそれぞれの思いを書いて参加ください。
※コロナの動きによっては変更があります。

主催/上関原発を建てさせない美祢・山陽小野田・宇部 地域実行委員会

共同代表/前田恵子 (美祢市) 秋本和美 (山陽小野田市) 小畑太作 (宇部市)

連絡先/日本基督教団宇部緑橋教会 (宇部市常盤町一丁目1-9)

協賛/上関原発を建てさせない山口県民連絡会

問い合わせ

0836-21-8003 (宇部緑橋教会)

080-6331-0960 (安藤公門)

このパレードは、さよなら上関原発ネットパレード (2月1日~3月31日) に参加します。▶▶▶



原発事故は瀬戸内海を壊滅させる

原発は、危険です。福島最悪のシナリオは250キロ圏退避でした。※1

さえぎるものがない海上、閉鎖水域の瀬戸内海では、放射能汚染によって漁業、沿岸の農林業、工業は壊滅します。人が暮らせなくなります。

南海トラフ地震は、2050年前後には不可避であると専門家は警鐘を鳴らしています。災害の被害を減らす「減災」が必要です。原発は、被害と命の危険を逆に拡大します。

子どもたちに原発のない未来を

1月27日福島の若者6人が小児甲状腺ガンの責任を明らかにするために提訴しました。※2

同じ日に、小泉純一郎氏ら5人の元首相が欧州委員会に「原発の除外」を求めて書簡を送り「小児甲状腺ガンで子どもたちが苦しんでいる」と正当にも訴えました。※3

私たちは、提訴した6人若者を支援し、1日も早い脱原発、原発ゼロを強く求めます。

声を力に上関原発を止めよう

福島の事故をなかったことにすることはできません。沈黙は同意です。

わたしたち市民の「声」で、原発のない未来をつくりましょう。是非ともパレードにご参加下さい。

※1 近藤俊介氏の最悪シナリオ <http://www.asahi-net.or.jp/~pn8r-fjsk/saiakusinario.pdf>

※2 311甲状腺がん子ども支援ネットワーク <https://readyfor.jp/projects/311supportnetwork>

※3 書簡全文と経緯 原自連 <https://genjiren.com/>

